

# 令和7年度 宮崎公立大学同窓会 凌雲なな会 1月議事録

[日 時] 令和7年度 1月21日(水)10:00 ~ 11:00

[会 場] オンライン開催

[出席者] 小林 黒木 川端

[議 長] 戸高

[書 記] 加治屋

## 1. 事務局報告

- ・入試対応
- ・学務課 梶原さん 打ち合わせ
- ・経費処理

## 2. 相談・報告事項

<ななファン助成金の利用方法について>

- ・学会に自身が参加する訳ではなく、学会を見に行く目的での申請があった。  
→来年度以降の募集要項に明記するようとする。  
→中身を変更済み。小林さん対応。(別紙参照)→承認

<小学校教諭免許取得に関する助成について>

- ・H28年より、星槎(せいさ)大学と連携し、小学校教諭の資格を取れるような体制にしているが、年々学費が上がっており、35万でスタートしたが、最新は41万となっており、今年は希望者が1名となっている。同窓会から何か支援頂けたらとのご相談が学務科よりありました。  
→受講者全員が資格試験に合格している訳ではないので、資格取得者のみ対象としても良いかと思うが、その一方で学費が理由で退学してしまった人もいるのではないかという懸念もあります。  
→後援会には相談済み。後援会、サポートする先として検討しますとの回答  
→学長、学部長と一度話して、大学側の対応について聞く場を設けてもよいのではないか。  
→ななファンの枠組みとは違うのでは? 成果報告が難しい。広げすぎるのはどうか。  
→同窓会という枠組みでする必要があるかどうか  
→後援会と同窓会の役割についても明確にしていく必要があるのではないか。

→大学と後援会へ確認する。

<個別同窓会について>

- ・個別同窓会の申し込みフォームが使用できなくなっている。  
その他、申請までの流れについて話し合いたいです。  
現在、申請書のダウンロードページと申し込みページが別になっているので、それを1ページにまとめる。ページ内でも申請の手順の表記する。  
→ページをまとめ、ページ内にテキストを追加。  
※ホームページ参照 →承認

<特別会計について>

- ・特別会計が現在21,237,344円あります。使い道についてご相談できればと思います。  
→先月色々な案がでたが、「誰向に」「何の為に」を明確にする必要がある。  
特別会計はどのように使われるものなのか、在校生向けなのか卒業生向けなのか  
解決したい課題を明確にする。もう一度方向性についてすり合わせをしたいです。

1/21

どのようにまとめていくかを議論。

→KJ法を使い ふせんにアイデアを集める。それをもとに議論する

→期間を長めに設けてじっくりと話し合う

<以下参考>

→起業サポートなど、がんばる人を応援する制度。(審査基準が重要)

→宮崎は青島に力を入れている。投資という形で運用したい。

→宮崎に拠点をおくことで、地域活性化にもつながるのではないか。

→維持費がかかるのではないか

→不動産の取得リスクを回避するためにパートナーシップという方法があるのではないか

→同窓会の活性化につながることをしたい。同窓会が運営する場所を作りたい。

→大型のイベントを仕込みながら同窓生の数を確保したい

→就活の拠点、学会の拠点として、都市部に部屋を借りる

→セミナーの開催(多様な就職先があるので、卒業生同士の繋がりが増える仕掛けを作りたい)

→金融商品を買って、資産運用をする

→「想い」の循環を作りたい

→公立大学の建物が劣化してきていると感じる。ここに予算を投じても良いのではないか

→どんどん名前をPRしていく

→学生へのリターンとして、朝食を提供する

→大学側が力を入れているのは、新学部、防災にかんすること

→学生によりすぎない、卒業生向けの支援

→卒業生が登録して、色々な所を利用できるようにすると良いのではないか。

→どこかの企業と連携する。

→LINEグループへの登録を必須

### 3.今後の事務局対応

・入試学生への対応

#### 時間外活動手当について

役員氏名	活動内容	活動日時	活動 時間	時間 累計	支給額 (累計 h x\777)

◆次回役員会開催予定 :場所、時間については 別途確認